

図書館だより

2018年1月
Vol.8

大分県立看護科学大学
図書委員会



◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

図書委員会副委員長 宮内 信治

2017年12月10日、長崎出身の英国人作家カズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞。彼は母親から、ノーベル賞は「ヘイワ(平和)」促進の賞であると教えられたとか^{※1}。医学・生理学、物理学、化学など、「事実(Fact)」を検証する科学と違い、文学は「つくりごと(Fiction)」。人類史前の大昔にも物理・化学現象はあったはず。一方、「神話(Fiction)」を共有したおかげで、ホモ・サピエンスは生き残ったとか^{※2}。故に、文学は人間の本質。我々が作り出す「ヘイワ」も Fiction。ひとは Fact のみに生きるにあらず。しあわせになるために「文学を読もう！」

※1 大分合同新聞 2017年12月10日夕刊 共同通信社配信 ※2 「サピエンス全史」河出書房新社 ユヴァル・ノア・ハラリ著 /柴田裕之 訳

◆企画展示紹介 図書館からおすすめしたい図書をまとめて展示しています

ノーベル賞受賞者関連著作

3年連続で日本の科学者が受賞したり、また第一生命調査の男子が「ない職業」位に「学者・博士」がランキングするなど、近年注目の高いノーベル賞。

日本、海外の受賞者の関連図書をまとめてみました。多岐にわたるジャンルをお楽しみください！



幼少時を大分にて過ごされたことがある日野原重明先生が2017年7月18日にご逝去されました。

医学・看護学の専門書から児童書まで、生涯現役で「いのち」について問い続けてきた日野原先生を追悼し、その著書の一部を展示・貸出いたします。

展示図書の他にも、館内には日野原先生の著作を多数所蔵しております。OPAC(所蔵検索)にて、配架先をご確認ください。



◆図書委員会おすすめ図書

〈環境保健学〉 甲斐 倫明 先生

シリーズ ケアをひらく
中動態の世界 - 意志と責任の考古学
國分 功一郎【著】 医学書院



本の帯に「失われた【態】を求めて」とある。副題が「意志と責任の考古学」とあり、これだけでは何をテーマとした本なのかわからない。能動態と受動態以外に中動態が存在したことは何か謎めいたミステリー小説を読むようだ。第16回小林秀雄賞を受賞した作品と聞くと医療との結びつきが益々わからなくなる。

能動は「意志」と結びついて捉えるために、能動態と受動態の対立では捉えることのできない出来事が存在する。自傷患者は「自ら切ったのか、切られたのか」、依存症患者の切実な思いがなぜうまく表現できないのか？中動態の世界を理解することが「意志」で説明できない出来事を理解する鍵となると。医療者に向けた示唆に富む哲学書だ。

〈言語学〉 宮内 信治 先生

看護学生と考える教育学
——「生きる意味」の援助のために
古川 雄嗣【著】 ナカニシヤ出版



「生きる意味」を援助する看護と教育には何が必要か。私たち自身が「思想」をし、「考える」ために。(書籍帯より)

看護の対象は、病気ではなく、人間です。…看護師であるためにはその対象である「人間」について考える人文学的な知識や思考が、本質的に必要なのです。

Cognosce te ipsum.



〈看護アセスメント学〉 山田 貴子 先生

ディズニー
おもてなしの神様が教えてくれたこと
鎌田 洋【著】 SBクリエイティブ



ディズニーランドのホスピタリティの秘密は「おもてなしの神様」が握っていました。本書では、ディズニーランドのキャストが、純粋にゲストのハピネスを願う、文字通り「表も裏もない」気配りの心を学んでいく様子を、3編の感動物語を通して紹介しています。



〈成人・老年看護学〉 堀 裕子 先生

切本 2
左右社編集部【編】 左右社



切本は、私達教員も学生さんの頭の中にも、常時存在していますよね。前回で紹介した本の続編が発刊されました。と言うことは世の中の方は、皆切本に追われ、この本に共感したことになります。前作でも著名人の面白い

言い訳や対処が書かれていましたが、今回は馴染みのある漫画家のエピソードや、悪態をつく逆切れもあります。この本での学びは、「もっと集中すべきだった」でしょうか。

モチベーションを高めるために、ご一読を。

◆図書館のブラインドが新しくなりました

図書館閲覧室1階のブラインドが新しくなりました。

これまでの横型ブラインドとロールスクリーンに替えて、縦型ブラインド(パーティカルブラインド)を設置しました。縦長の羽を動かして左右方向から光を調整するブラインドで、冬の太陽や西日など低い日差しを上手く調整することができます。これまでのロールスクリーンに比べ、遮熱効果もすぐれているので、図書館の温度調整にも効果が期待できます。快適になった図書館にぜひお立ち寄りください。

ブラインドを開けた時

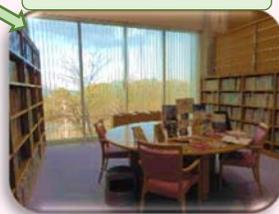


窓から「風のひろば」が見えます

1階閲覧室



1階閲覧室北側の窓



晴れた日には高崎山が見えます

ブラインドを閉めた時



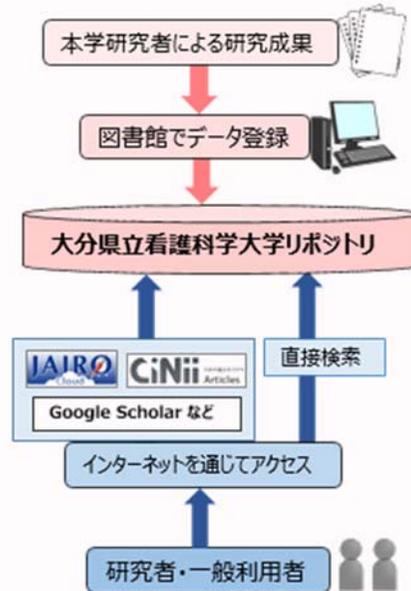
夜間や日差しが強い夏の間はブラインドを閉めています

光を取り込んで明るさの調節ができるようになりました

◆大分県立看護科学大学リポジトリを公開しました

2017年6月12日に大分県立看護科学大学リポジトリを公開いたしました。リポジトリとは本学で生成された学術情報成果物を電子化して蓄積・保存し、学内外に公開・発信するインターネット上のシステムです。現在は本学で博士課程を修了された方の博士論文を公開しています。

大学ホームページまたは図書館ホームページトップ画面のバナーからアクセス可能です。ぜひご利用下さい。



◆学生からのメッセージ

◆看護学部2年 鶴留 叶風さん◆

大学の学習内容はとても専門的で、それが誰かを救う一歩だと思うと、とてもやりがいを感じます。しかし難しいものも多く、疑問に思い頭を抱える場面も多々あります。そんな時いつも私を助けてくれるのが図書館の存在です。書物で調べれば様々な角度から知ることができ、知識が広がっていくのを感じます。そして疑問はどんどん解消されて、「もっと知りたい!」というワクワクとした気持ちに変わっていきます。これからも自分の夢の実現のため、図書館とともに学習を続けたいと思います。



◆大学院1年 中光 淳一郎さん◆

「少年老い易く学成り難し(しょうねんおひやくがくなりがたし)」という、言葉に出会ったのは、私が中学2年生のころでした。それから20数年後、私は大学院で学習する機会をえました。大学の図書館で、書物を読めば読むほどに、ふと、あの言葉を思い出します。書物を通して、「学」に触れる機会を無駄にせず、「少年老い易く学成り易く」していきたいと思っています。これからも、皆さんといっしょに、書物を通して「学」に触れる機会を増やしていきたいと思っています。



◆山と溪谷社 分県登山ガイドのご紹介

山と溪谷社発行の「分県登山ガイド」が20年ぶりに完全リニューアルされました。情報が充実し、地図も大きく見やすくなっています。体力度も載っていますので自分に合った山を探することができます。図書館ではこの登山ガイドシリーズの貸出ができます。「大分県の山」は3月に受け入れ予定です。登山ガイドを参考に、春になったら山に登ってみませんか?



「分県登山ガイド」は2階閲覧室にあります(背ラベルの番号 291/BU)

◆図書館カレンダー(2018年1月~3月)

図書館では土日祝日に学部生・院生・卒業生を対象として休日開館を行っています。ぜひご利用ください。スケジュールは変更する場合がありますので最新情報はホームページでご確認ください。

□ 9時~20時 ■ 9時~17時 ■ 9時~15時 (入試準備のため) ■ 休館日
■ 10時~18時 (休日の開館日は学内者・卒業生のみ利用可能です)

2018年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※2月中旬~3月の間、休日開館は行っていません。
※2/28~3/6は蔵書点検のため休館いたします。